

# 総合的な学習の時間

## 1 総合的な学習の時間の改善・充実

総合的な学習の時間の実施状況を見ると、大きな成果を上げている学校がある一方、当初の趣旨・理念が必ずしも十分に達成されていない状況も見られる。総合的な学習の時間の一層の改善・充実を図るためには、平成21年3月に改訂された学習指導要領において示された目標を、各学校において定める目標及び内容に反映させ、創意工夫して実践していくことが大切である。

総合的な学習の時間が実効性のあるものとして実施されるための全体計画及び年間指導計画の作成については、「平成24、25年度高等学校教育課程編成・実施の手引」で例を示しているが、ここでは、それらを踏まえた単元計画の作成の手順例を紹介する。

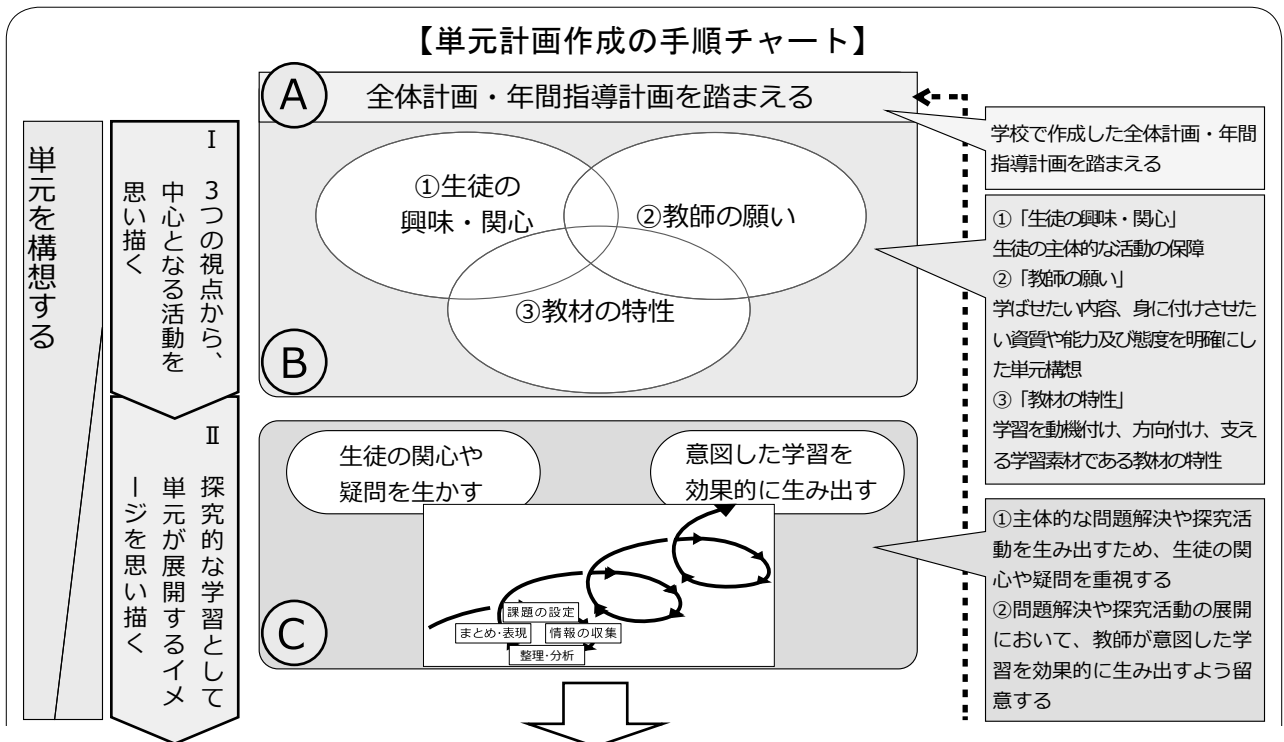
### (1) 単元計画の作成

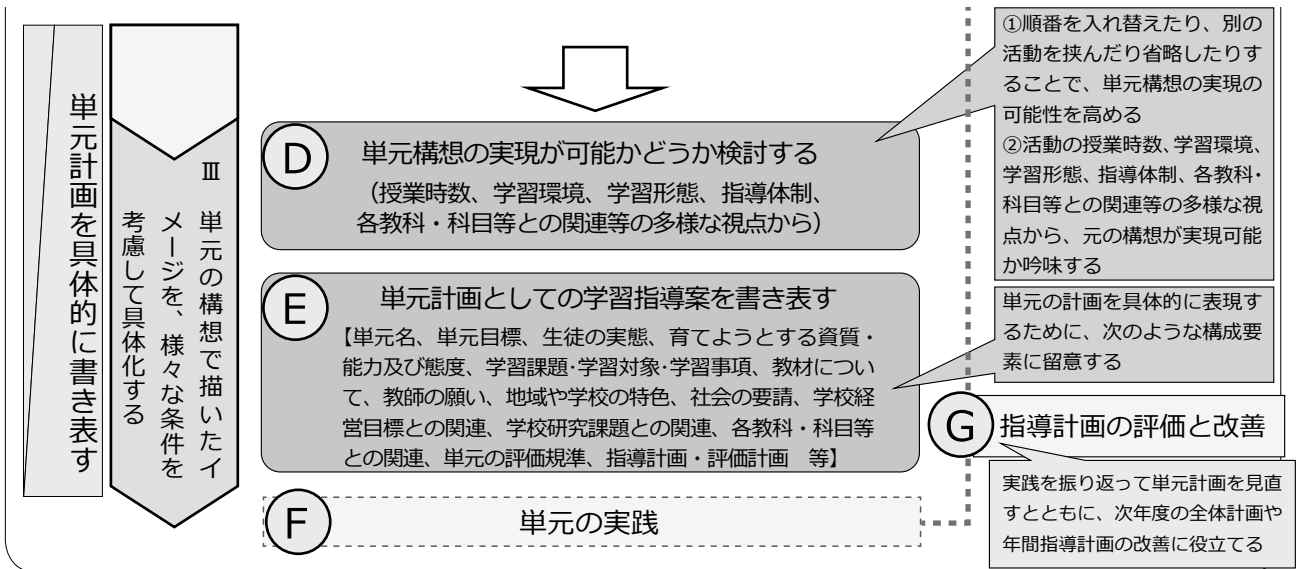
単元とは、生徒の学習過程における学習活動の一連の「まとまり」という意味である。単元計画の作成とは、教師が意図やねらいをもって、このまとまりを適切に生み出そうとする作業に他ならない。学校としてすでに十分な実践経験が蓄積され、毎年実施する価値のある単元計画が存在する場合でも、改めて目の前の生徒の実態に即して、単元づくりを行う必要がある。

総合的な学習の時間の単元計画の作成に際しては、次の二つの重要なポイントがある。一つは、生徒による主体的で粘り強い問題の解決や探究活動を生み出すため、生徒の関心や疑問を重視し、適切に取り扱うことである。もう一つは、問題の解決や探究活動の展開において、教師が意図した学習を効果的に生み出していくことである。

### (2) 単元計画作成の手順チャート

単元計画の作成に当たっては、次の「単元計画作成の手順チャート」の①～③の各項目に沿って手順を検討し、実効性のある計画を作成することが望ましい。





### (3) 単元計画作成のチェックポイント

総合的な学習の時間における単元計画を実際に作成するに当たり、それぞれの段階における留意事項をまとめた、いわゆる「チェック・リスト」の例を次に示す。

	手順	単元計画作成に当たっての留意事項	チェック欄
I なる3つの視点から、中心となる活動を思い描く	A 全体計画・年間指導計画を踏まえる	ア 学校の全体計画・年間指導計画を踏まえて作成している	<input type="checkbox"/>
	B 3つの視点から、中心となる活動を思い描く	ア 3つの視点を想定している ① 生徒の興味・関心 生徒の主体的な活動を保障している ② 教師の願い どんな内容について学ばせたいか、どんな資質や能力及び態度を身に付けさせたいかを明確化した単元を構想している ③ 教材の特性 生徒の学習を動機付け、方向付け、支える学習の素材となる教材によって、どのような問題解決や探究活動を行うことができるか、見通しを明確化している 横断的・総合的な学習となるよう意識している	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
II 展開するイメージを思い描く	C 探究的な学習として単元が展開するイメージを思い描く	ア ③の中心となる活動を、生徒主体の価値ある探究的な学習にする ① 主体的で粘り強い問題の解決や探究活動を生み出すため、生徒の関心や疑問を重視している ② 問題解決や探究活動の展開において、教師が意図した学習を効果的に生み出すよう留意している イ 教師が意図した内容を、生徒が自ら学べるような構成になっている ウ 学習活動を通して生徒が学ぶ事項について、考えられる可能性を多面的、網羅的に予測している エ 設定した学習活動が、各学校で定めた内容、育てたい資質能力や態度と整合している	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	D 単元構想の実現が可能かどうか検討する	ア 生徒の意識や活動の自然な流れに沿った活動を展開している イ 順番を入れ替えたり、別の活動を挟んだり省略したりすることで単元構想の実現の可能性を高めている ウ 各活動の授業時数、学習環境、学習形態、指導体制、各教科・科目等との関連等の多様な視点から、実現の可能性を吟味している	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
III 様々な条件を考慮して具体化する	E 単元計画としての学習指導案を書き表す	ア 単元計画を具体的に表現するため、次の構成要素に留意している ① 単元名 ② 単元目標 ③ 生徒の実態 ④ 育てようとする資質・能力及び態度 ⑤ 学習課題、学習対象、学習事項 ⑥ 教材について ⑦ 教師の願い ⑧ 地域や学校の特色 ⑨ 社会の要請 ⑩ 学校経営目標との関連 ⑪ 学校研究課題との関連 ⑫ 各教科・科目等との関連 ⑬ 単元の評価規準 ⑭ 指導計画・評価計画	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	F 単元の実践	ア 生徒の活動が想定通りにならない場合、生徒の動きに応じて柔軟に修正している	<input type="checkbox"/>
	G 指導計画の評価と改善	ア 実践を振り返って単元計画を見直している イ 次年度の全体計画や年間指導計画の改善に役立てている	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

表中のA~Gは、p119「1 総合的な学習の時間の改善・充実 (2) 単元計画作成の手順チャート」で示した、手順チャートのA~Gに、それぞれ対応している。

## 2 総合的な学習の時間における単元計画の実践例

ここでは、「平成25年度高等学校教育課程編成・実施の手引」で示したA高等学校の全体計画における、第3学年で実施する「テーマ学習」の単元計画の例を示す。

### (1) 総合的な学習の時間の全体計画（一部）

総合的な学習の時間	21世紀型学力を育成する探究的な学習			第1学年・1単位 / 第2学年・1単位 / 第3学年・1単位	
1 学習の目標	「主体的で新しい知を創造する探究型教育の推進」				
KJ法やブレインストーミング等の思考ツールの活用、グループ活動による協同的な学び合いを通して、思考力・判断力・表現力の育成や、前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力の定着を目指す。					
4 授業計画	※（ ）は実施月を示す				
項目	第1学年	第2学年	第3学年		
学 習 内 容	学習支援	○総合学習ガイダンス（4） ○学習ガイダンス（4） ○図書館ガイダンス（4） ○思考ツールの使用法（5、7）	○総合学習ガイダンス（4） ○学習ガイダンス（4） ○論理的思考演習（6、7） ○小論文論理構築学習（6、12、1） ○コース選択ガイダンス（5）	○総合学習ガイダンス（4） ○タイプ別小論文学習（6、7、9） ○個人面接、個別指導（4～10）	
	キャリア教育	○進路講話（1） ○職業研究（6） ○インターンシップ報告会（8） ○テーマ学習発表会（9、10）	○進路別ガイダンス（1） ○インターンシップ（4～6、9～1） ○インターンシップ報告会（8、2） ○テーマ学習発表会（9、10）	○ <b>テーマ学習（4、6、7）</b> ○進路別ガイダンス（5） ○インターンシップ報告会（8） ○面接指導（8）	
	情報教育	○ICTを活用した学問調べ（11～1） ○職業研究（6） ○現代社会キーワード学習（6、7） ○新聞教材活用学習（6、7）	○進路研究（9、11～1） ○プレゼンテーション（8、10、2） ○小論文発表（7）	○進路情報収集（4、5） ○プレゼンテーション（8、10） ○ <b>テーマ学習発表会（10）</b>	
	体験活動	○ボランティア活動      ○読書活動      ○各種HR活動      ○インターンシップ			
	言語活動	○ブレインストーミング      ○マインドマップ      ○ディスカッション ○KJ法      ○プレゼンテーション      ○スピーチ			

### (2) 総合的な学習の時間の単元計画（一部）

単元名	テーマ学習			
単元の目標	○ 自らが設定した課題を解決する活動において、主体的、協同的に探究活動に取り組む。 ○ 収集した情報や他者の意見を理解することで、社会問題等への自らの課題意識に気付く。			
単元の評価基準	問題を解決する資質や能力	学び方やものの考え方の	主体的、創造的、協力的に取り組む態度	自己の在り方生き方の
	自分で課題を設定したり発見したりすることができる。 問題解決のための方法を見出すことができる。	他人と協調するとともに、他人の考えや行動を理解している。	自ら進んで探究活動に取り組むことができる。	自分のよさや不足している点を自覚し、自己の向上のため努力できる。 探究の過程や結果を自己の在り方・生き方や進路と結びつけて考えている。

単元の指導計画（15時間）				
主な活動内容	時数	指導上の留意点	評価規準	教科等との関連
小単元① 調査研究活動（4・6月）	オリエンテーション ・調査研究活動の意義 ・班編成（3～5名程度） ・調査テーマの検討	1 ・今後の流れを提示し、班を編成する。 ・テーマ別発表及び全体発表について生徒の興味・関心を喚起するように説明する。 ・テーマが偏らないよう配慮する。	II◎ア 生徒の多様な興味・関心に対応できるようにテーマを設定する。	・テーマは、外国文化歴史、日本文化歴史、情報、健康・福祉、経済、自然・環境、芸術、教育など
	調査テーマの決定 ・班ごとに調査テーマの検討 ・調査研究活動の計画書作成	1 ・テーマ別にクラス編成する。 ・班ごとに調査テーマのアイデアを出させ、テーマを決定させる。 ・テーマ及び調査方法を考察させる。	・班員の意見を受け入れ、多様な視点でアイデアを出している。	・これまでの総合的な学習の時間で習得した知識・技能を活用する。
	調査研究活動 ・班ごとの調査研究活動 ・中間報告書の作成	3 ・各時間ごとに報告や質問を受けることで、作業の進捗状況を把握する。 ・図書室を活用するよう指導する。	・設定した課題の解決に向けて、テーマに応じた方法で主体的に活動している。	・各教科・科目の教員が担当者として指導する。
小単元② 中間報告（6月）	中間報告書の提出 ・担当教員に中間報告用紙を提出	1 ・問題点や今後の方針について指導する。	II◎イ 中間報告書を提出させる。	
	中間報告の改善 ・指摘された問題点について改善点を検討 ・改善点についての再調査・研究	2 ・改善点について指導する。 ・アドバイスを与え、課題の解決方法に気付くよう指導する。 ・収集した情報を整理・分析する機会を設定する。	・問題点に気付き、具体的な改善策を考えている。  I◎ア② 生徒間の協同的な活動となるようにする。	
小単元③ まとめ（7月）	調査研究活動のまとめ ・最終報告書の作成 ・プレゼンテーションの準備	2 ・研究概要の整理について指導する。 ・学び合いが探究の質を高めることを意識させる。	・報告書作成過程において、賛否を明らかにしながら協同的に学び合っている。	・教科「国語」で学習した論文の書き方を活用する。 ・教科「情報」で習得した知識・技能を活用する。
	発表資料の作成 ・プレゼンテーション資料の作成	2 ・自らの活動を振り返ることで新たな問題を意識できるようにする。	I◎ア② 調査研究活動を通して、課題意識を持たせる。	・これまでの総合的な学習の時間で習得した知識・技能を活用する。
小単元④ 発表（10月）	テーマ学習発表会 ・調査研究活動の発表 ・教員及び生徒による審査、テーマごと代表選出	1 ・発表を聞く姿勢について指導する。 ・全体発表する班を選出する。	・他者の発表を聞き、多様な主張を理解し、自己の在り方とつなげて考えている。	
	テーマ学習全体発表会 ・テーマ代表による調査研究活動の発表 ・テーマ混合での討論	2 ・他のテーマの生徒と討論する機会を設定する。	II◎イ プレゼンテーション活動を挟むことで、単元構想の実現性を高める。	

チェックポイント(P120)

I、IIとの関連

I 「3つの視点から、中心となる活動を思い描く」

◎ア

① 「生徒の興味・関心」

・生徒自ら課題を設定することで、主体的な活動を保障する

② 「教師の願い」

・主体的、協同的に活動させたい  
・調査研究活動を通して、社会問題等への課題意識を持たせたい

II 「探究的な学習として単元が展開するイメージを思い描く」

◎ア 生徒の興味・関心があるテーマを設定し、主体的な探究活動を生み出す

◎イ 中間報告書を提出させることで、教師が意図した学習となっているか確認する

◎イ 別の活動（小論文学習、プレゼンテーション）を挟むことで、単元構想の実現性を高める